

福島県内における被災状況調査速報(3)

1. 須賀川市内における被災状況調査

日 時：平成 23 年 3 月 25 日

調査者：日本大学工学部土木工学科 中村晋，梅村順

場所：白河市中心市街地とその周辺地域および須賀川・長沼地域の調査を実施

1) 被害の概要

➤ 建物など：

- ・ 中心市街地では，市役所の被害がほとんどなく，市民会館の煙突が崩壊や図書館の煙突が損傷している程度であり．損傷が軽微である．災害拠点施設が機能している地域であった．墓石などの転倒や窓ガラスの割れは郡山市や須賀川市に比べ，少ない．
- ・ 住宅や戸建ての商業施設の被害は，木造の古い建物，土壁の倉や飲食店，石壁の倉内の住宅などである．
- ・ 石造りの瓶，ブロック塀の倒壊
- ・ 周辺地域では屋根瓦の落下などの被害が散見されている．

➤ 地盤災害

- ・ 周辺の宅地造成地や工業団地などで盛土の変状が生じていた．
- ・ 中心市街地周辺の新興の造成地内また道路の歩道内の下水管路敷設部の沈下，マンホールの浮き上がりの被害が生じていた．

➤ 斜面崩壊

- ・ 葉の木平にて大規模な斜面崩壊が発生した．崩壊土により住宅 8 棟，アパート 1 棟が破壊され，13 人が亡くなった．白河石(要結凝灰岩)上部の風化層にてすべりが発生した模様．すべり面は深い位置に発生している．
- ・ 国道 294 号線，県道 58 号線，県道 37 号線の中山間地にて葉の木平と同様の白河石(要結凝灰岩)上部の風化部，また表層地盤（火山性堆積物？）の崩壊，亀裂を有する岩盤斜面の崩落が生じていた．
- ・ 崩壊，崩落が生じている斜面は岩手・宮城内陸地震に比べると少ない．一方，震度 7 を観測した地域（宮城県）の被害は極めて少ない．地震動特性の差異はあるものの，2008 年岩手・宮城内陸地震により，強い地震作用により崩壊の可能性を有する斜面多数の崩壊が多数発生したので，東北地方太平洋沖地震による地震による被害が少ないものと推測される．

2)被災状況

< 白河市街地 >



写真-1 白河市役所全景①



写真-2 小峰城の石垣崩落②



写真-3 葉の木平-斜面崩壊全景③



写真-4 葉の木平-斜面崩壊上部③



写真-5 葉の木平-崩壊土により一部破損した住宅③



写真-6 白河石 (③)



写真-7 風化した白河石

<白河市—南湖周辺の液状化による変状>



写真-8 南湖南の国道 289 号線沿いの歩道の下水管路部の沈下①



写真-9 南湖南の国道 289 号線沿いの歩道のマンホール浮き上がり①



写真-10 南湖南の国道 289 号線沿いの歩道の噴砂跡①



写真-11 南湖南の国道 294 号線沿いの新興住宅地における石柱の転倒②



写真-12 南湖南の国道 294 号線沿いの新興住宅地における下水施設の浮き上がり②

<白河-294 号線沿い，県道 58 号線沿いの斜面崩壊>





写真-13 白河市-294号線沿い(北の入周辺)の
斜面崩壊①



写真-14 白河市-294号線沿い(牛清水周辺)
の斜面崩壊②



写真-13 白河市-県道58号線沿い(岡の内)の
斜面崩壊③



写真-14 白河市-県道58号線沿い(岡の内周辺)
の周辺斜面崩壊